

《しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 43

平成28年(2016)
7月28日

おもな内容

条例改正・補正予算 ほか	2~3
一般質問	4~11
委員会報告	12~14
採決一覧・議会日誌	15
みんなの広場	16

トピックス 町民バス「子育て応援回数券」新設
国保基金5千万円で増税抑制
地方創生加速化交付金6千7百万円
補正増で道の駅計画等を充実整備！
賛成多数で可決



但馬の三大祭 スタートを切る京二屋台

(7月16日)

援回数券」新設・国保基金5千万円で 加速化交付金6千7百万円 等を充実整備！

賛成多数で可決

**チェック！
条例改正**

こんな「決まり事」になりました

平成28年6月第78回定例会は、平成28年6月7日から6月22日を会期として召集されました。今定例会には、報告案6件、条例案4件、事件案1件、人事案1件、平成28年度各会計補正予算9件、諮問案1件、請願1件が提案され、いずれも賛成多数で可決、承認されました。その内容についてお知らせします。

条例改正

町バス条例の一部改正

この改正は、町の少子化・子育て支援策として提案された。内容は現行の普通回数券（11枚綴り）に加えて子育て応援回数券（15枚綴り）を新設するもので、対象は高等学校の終了時（18歳）までの年齢者で、実施は本年9月1日からです。

町国民健康保険条例の一部改正

この改正は地方税法施行令の一部改正によるものと、平成28年度国民健康保険税率の改正により提案されたものです。提案に対し、国保の税額割合（所得・資産・世帯・平等）の状況や平成30年の国保の県単位化に向けての課題と取り組み、滞納の状況等について多くの意見が出された。毎年、医療費の増額に伴い保険税も増額の傾向となっている。今

年度は基金5千万円を投入し、賦課限度額の引き上げはあるものの、軽減枠の拡大や世帯割や人員割を軽減し、結果として平均値を下げることになった。以下、今回の条例改正は次のとおりです。

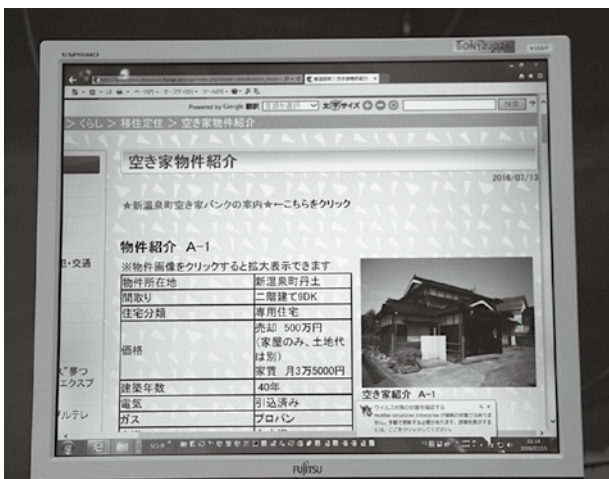
町税条例等の一部改正

説明：地方税法等を改正する法律の公布に伴

い改正するもの（軽自動車関係ほか）

町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

説明：空家等対策協議会の委員を非常勤の特別職として委嘱するため。



空家対策の一環でスタートした「新温泉町空き家バンク」事業。町のホームページに掲載され、1,300件を超える検索があった。移住定住に期待したい。

反対討論

谷口 功議員

町税条例一部改正

このたびの改定は、消費税8%への増税にともない、自動車業界から自動車取得税と二重課税の批判を受け、その穴埋めとして軽自動車税を増税するもの。雇用・経済でも困難を抱える地方ほど負担増の影響が大きい。消費税増税に加え二重の負担増となる。

同じく地方法人税も同様、地方交付税の交付団体と不交付団体との間の税収の格差対策として、政府は新たに「地方法人税」（国税）を新設した。消費税増税により地方住民ほどその影響が大きく、一層格差と貧困が増大するので、認められない。



町民バス「子育て応援増税抑制・地方創生補正増で道の駅計画

報告他

平成27年度一般会計、浜坂地区残土処分場事業、水道事業会計、予算繰越計算書の各報告及び平成27年度兵庫県町土地開発公社、但馬広域行政事務組合規約の変更、第28期営業年度株式会社温泉町夢公社の各事業報告及び財務諸表の報告、損害賠償の額の決定及び和解

チェック！補正予算

まちの台所事情が変わりました

子育て世代を応援する町民バス「子育て応援回数券」が可決。自転車とのセット活用に期待できる。ぜひ、利用ください。

補正予算

この度の一般会計補正予算は、4月に行われた人事異動に伴う人件費の補正が各費目全体にわたって調整された。また、新規の事業で

主なものは、総務費では、バス回数券20万5千円、CATV修繕3万1千3百6千円増額。民生費では介護ロボット等導入支援599万2千円増額、熊本災害支援206万4千円増額。衛生費では北但行政事務組合負担81万円増額。農林水産業費では、修繕工事1

平成28年6月補正予算（一般会計・特別会計・企業会計）
（単位：千円）

会 計 名	補正額	補正後予算
一 般 会 計	92,312	10,102,312
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	1,944
	〃 歯科診療所	9
	介護保険事業	14
	浜坂地区残土処分事業	4
	温泉地区残土処分事業	△ 949
公営企業会計	浜坂温泉配湯事業	2,638
	水道事業	18,397
	下水道事業	6,372
	公立浜坂病院事業	30,788

81万3千円、森林活用事業補助金40万円増額。商工費では、地方創生加速化交付金の各種事業（道の駅関連）6,700万円増額。土木費では、下水道事業経営補助金193万5千円、教育費では、伝統文化の学びの充実事業15万円増額となりました。

今回の一般会計補正は9,231万2千円を増額し、一般会計予算は総額101億231万2千円となっている。また、併せて国民健康保険事業特別会計補正予算ほか4件、水道事業会計補正予算ほか2件も議案上程され、賛成多数で可決承認されました。各会計の補正額は表のとおりです。

反対討論

中井次郎 議員

議案70号平成28年度一般会計補正予算（第1号）に反対の立場から討論する。当補正予算は4月の人事異動に伴う人件費の増減が主なもの。しかし、保健衛生費・環境衛生費・負担金北但行政事務組合、説明では弁護士成功報酬負担金ということだが、裁判は被告兵庫県知事、原告北但ごみ問題の会の間で争いをしたものであり、新温泉町は参加行政庁にはなっているが、裁判の当事者でない。よってこの裁判にかかわる弁護士費用を出すゆえんはないと考える。

ずばり！ 町政を問う。



一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営を進めているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

本町議会では、議員は年４回の定例会で一般質問することができます。質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。一般質問の質問時間は、答弁時間を除き４０分以内で、時間内であれば何回でも質問することができます。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（１人１ページ）を起こし掲載しています。今定例会の質問議員は７人でした。次のとおり紹介します。

頁	質 問 者	質 問 事 項
5	中村 茂	①道の駅整備の進捗状況 ②地域おこし協力隊と集落支援員の活用 ③ バイナリー発電の停止と温泉保護 ④ 移住・定住対策の推進
6	西村 銀三	①公共工事 ②情報提供
7	中井 次郎	①温泉総合支所 ②湯村温泉の湯量（湧出） ③火事など 緊急事態における 情報発信
8	池田 宜広	①病児保育 ②定員適正化計画 ③職場環境整備
9	高橋 邦夫	①観光振興 ② ふるさと納税 ③移住定住の具体策
10	谷口 功	①オバマ大統領の広島市訪問の見解 ②福祉行政の充実 ③北但行政の裁判結果の説明
11	宮本 泰男	①ふるさと納税 ②町内のトンネル内の照度

※質問は通告受け付け順に掲載しています。



中村 茂 議員



運営組織が明確になった後に建築すべき

町長 一定の手続きが必要、今しばらく時間がかかる

道の駅はどうなっているのか

問 町の大事業、本年度の目玉事業だが町民への情報発信ができて

ない。この事業は、単に施設整備ではなく、町民に夢を売り、併せて町民と一緒に参画協働でやっていくべきではないか。

町長 スケジュールは7月までに積算、9月に建築入札。造成は、県が8月ごろに入札の

予定。開設は来年9月が目標。その都度、節目には町民の皆さんに知らせるべく努力したい。

問 道の駅検討委員会

があるが、皆さんが不完全燃焼の気がする。みんなが達成感、満足感をもって、一つの区切りをしたのか。

町長 十分とは言えないが、一応全ての役割

は終わった。委員の辞職や追加的な変動もあったが、誠実に委員会に求めるべきは求め、結果もいたした。

誰の何のための道の駅なのか

問 委員や町民からも施設運営を危惧している。関係団体からは身

近な販路として期待しているが、内容が全く解らないし、誰の何のための道の駅なのか。

町長 物事には段階がある。当然、道の駅の

開設を用途に一定の工程で、条例整備や管理運営なり総合的に対応する中で、広く出店要請の段階になるもの。

今の意見はこれからの話である。関係の各団体とは今後の相談を重ね、十分に対応したい。

問 建築工事の変更や

手戻りを避ける意味から、運営組織が明確になった後に建築すべきが常道ではないか。施設配置で春来そばのウ

エートが高いが出店同意はとれているのか。

町長 現段階で指定管理者は未定で春来そば

出店の確約もとれていない。これからの課題だ。一定の手続の中で初めて出店なり指定管理ができるもの。今しばらく時間がかかる。

人に響く行政推進を

問 仕事はタイムリー

に、そして人に響く行政推進をしてほしい。そのためには情報発信すべき。その中で総合力が生まれ町づくりができる。更なる協働の行政推進を求めたい。

町長 すべからず、そのような対応をしたいと思っている。



道の駅完成予想図。早期に運営組織(指定管理者)を明確にし、運営準備を行うべき。

災害多発！備えは万全か

町長 出来る限り対応したい

問 次から次に日本中が大災害に見舞われている。兵庫県は全国でも土砂災害の危険区域が最も多い県だ。このところ県道を中心に道路の整備がかなり進んできている。しかし、一部の地区では集落に通じる道路の崩落危険区域の対策が十分ではない。崩落すれば、迂回路がなく孤立する集落がある。久斗山―熊谷間の道路は冬期は通行止めになる。防災の視点から早く手を打つべきだ。集落内道路の改修も進んでいるが、途中で終わっている箇所がある。周回できるよう最後までやる必要がある。



西村 銀三 議員



町長 集落が小さいからと言って放置している訳ではない。迂回路は大事だと思っているが、資金余力があれば対応したいが。冬季の除雪は対応できる業者が年々減少していることもあり、困難な状況だ。道路補修計画を策定し、出来る限り対応したい。

問 過去10年間で普通建設事業費は旧町単位でいくら使ったか。どちらかに片寄ることのない町づくりが必要だ。また、合併までに積み残した案件はなかったか。

町長 浜坂地域では3

02件、10年間で19億7,201万円、温泉地域では320件、9億8,969万円だ。その内、二日市―七釜間の道路に8億円かかっている。懸案事項としては、国道9号鐘尾地区、歌長の消雪工、金屋口から下流側、内山地区の出合橋など、多くの皆様のお陰で改良でき、今年も仁連寺上側などに着手する。

防災情報の要 ラジオ中継局は！

問 NHKの第一放送が聞けるラジオ中継局はいくつ完成予定か？放送90周年を記念して、NHKラジオカー「90ちゃん号」が全国を駆け回っている。竣工式には招いて大々的にやってはどうか。防災情報提供の要であると同時に、ラジオ深夜便など人気のすばらしい番組が多い。団塊の世

代を中心に町民の多くが待ちわびている。また、新温泉町を全国に宣伝する絶好のチャンスだ。

町長 来年の3月までは90ちゃん号は予定が組まれているが、完成までにNHKとかけ合って祝賀会などが出来るようにしたい。



ラジオ放送は災害対策に欠かせない媒体である。現在、29年度末開設予定で用土地区で進む中継局に期待したい。

**どうなる温泉地域
ケーブルTV**

問 昨年NTTと関西電力のケーブルなどが温泉地区に参入した。町が運営するケーブルTVは将来どうなるか。

町長 NTTなどの参入で町のインターネット加入者が300件減り400件になったが、出来るだけ現状を維持しつつ、今後の在り方を研究したい。



中井 次郎 議員



温泉総合支所、職員削減、「約束が違う」

町長 ご理解をいただきたい

問 今年4月の人事異動で、温泉総合支所では農林係、建設係の窓口がなくなった。実質

なる係の異動ではなく、機構改革ではと考えざるを得ない。

問 機能が低下したとは言えないと考えている。町長の答弁では全

体が減ったから、支所の人員も減らして当たり前と聞こえる。本庁に温泉担当の窓口を設けたから問題ありません、温泉の人は本庁に行かなければ用が足せない、これもおかしい。

過去、温泉支所の職員数を調べたところ、平成18年度、合併後1年経過、30人。平成28年度、12人、ケーブルテレビ係も入れてこの人数だ。

区長方々からも、職員が減ることについて、「約束が違う」との声が出ています。温泉地区の住民、交通手段のない方にとっては重大問題だ。

2名の職員減となり、温泉支所は合併時に「現地解決型の総合支所との位置づけであったが、今回の異動で、総合支所機能を失ったと感じている。温泉地域の住民にとっては不便になる。今回の異動の考え方を尋ねる。単

の間、定員の適正管理や、行財政改革等々の中で、この10年間職員数を減少させてきた。合併時371人だったが、今年4月では265人となっている。できるだけ人件費を抑制するという方針のもとでの措置である。建設

や農林においては、支所と本庁の連携を重視したことも原因である。現場からも本庁に機能を集中した方が、仕事

がやりやすい、そのような声も出ている。今回の異動で直ちに支所

を削減する中で、限られた職員数で、機能的に水準を保ち、サービスを低下させないことを考えた結果である。温泉総合支所の機能を維持していく思いであり、ご理解をいただきたい。



現地解決型でスタートした温泉総合支所。行革や職員定数削減計画で機能維持が危惧されている。

子育て支援策「病児保育」に期待

町長 31年を目途に着手したい



池田 宜広 議員



「病児、病後児」保育事業展開の今後は

問 当町には幸い待機児童はない。子育て支援は今年度からも格段に配慮があった。しかし、近年の子育て世代の就労状況をみると、夫婦共働き世帯が大半を占めている。そこで病児、病後児保育に対して今後の取り組みをどう考えているのか。

町長 昨年3月に我が町の子ども・子育て支援事業計画を策定した。保育事業の課題になっているのは確かで、看

護師さんであったり、保育士さんであったり、マンパワーの絡みも当然あるが、31年を目途に着手したいと思っている。町全体ではないが、28年から試行的に病院スタッフの子どもを対象に行っている。

問 町全体にできる限り早い段階での対応はできないのか。

町長 それぞれの有資格者の招聘には非常に苦慮する事態が続いているが、質問の趣旨は十分に理解をしている。いろんな条件面の整理をしながら、早まるよ



海開きに参加し元気に風船上げを行う浜坂認定子ども園の園児。健やかな成長には適宜適切な行政の子育て支援施策が必要だ。

「定員適正化計画」を策定したが

うであれば早め、31年というのが絶対のものという認識は持っていないところである。

問 人員削減ありきの策定ではないのか。住

民が増えれば現状維持又は職員増になるのではないか。合併時いた職員数は230名、住民約17,500人、職員1人当たり72名の住民を受けもっていた。現在職員数157名、住民約15,300人、職員1人当たり96名の

住民を受けもっている。約3割増えている。行政の健全化に向けた取り組みは分かるが、住民サービスが低下しているのではないのか。また負担感が増し、心の病が増してくるのではないか。

町長 職員の削減が直ちに心の病に起因しているというふうには思っていないが、負担感が年々増しているのは実態としてあるように思う。

問 類似団体と同一の行政ではなくこの町独自の発想、トータル的に発想の転換が必要ではないか。

町長 閉鎖的な体質にならないよう、広く人材を集め、それぞれの英知を結集していく認識はもっている。



高橋 邦夫 議員



ふるさと納税を真剣に取りくめ

町長 ペア宿泊券を検討している

松葉力二高騰で観光業者は弱ってないか

問 今年のカニシーズンは、異常な高値で観光関連業者は大変だったようだ。高騰の原因をどのように考えているか。

町長 昨年からは北陸新幹線開業の影響で北陸からの買付が増大し高値になっているものと考えている。

問 シーズン中、湯村・浜坂エリアの入込客の動向は。

町長 湯村では約6%の増、浜坂では約3%の減と聞いている。

問 湯村温泉が増になったのは長年、全信連の協力を得た地域づくりの賜物だ。他にも、地域づくりに積極的な団体や企業もある。そんな団体等と交流を持つことが大切だ。

町長 地域協力隊の新鮮な提案にも期待している。

い。また民間の各種団体の方々と「汗」をかくことも必要だと思っている。

ふるさと納税の今後の方向は

問 他自治体へのふるさと納税による26年度の町税の減税額はいくらか。

税務課長 172万7



松葉力二の高騰は歓迎したいが、扱う旅館や民宿は非常事態。誘客宣伝の方法等、対策が必要となっている。(写真は湯村温泉旅館街)

千円となっています。

問 ふるさと納税条例の提案者として、最近のふるさと納税は物販等の競争で、その額だけがマスコミに取り上げられている。新温泉町においても本来なら町に収めて頂く税金が他自治体に流れる。その額がどこまで膨らむのか解らない。返礼品を含め、この事業の取り組みの方向性はでたのか。

町長 本来の趣旨に沿った対応をしたい。使途についても条例上の四区分についても絞り込みが必要と思う。入浴券のほかに、ある程度高額寄付者にはペア宿泊券も検討している。

新温泉町でも人材不足が深刻だ

問 保育士を募集しても募集通り集まらない。介護施設では各種の介護資格者が慢性的に不

足している。湯村温泉では旅館の中居さん不足が深刻だ。人手不足の認識はあるのか。

町長 中居さんが不足している事は聞いている。

教育長 保育士についての大きな原因は、当町では未満児、一歳児については三人に一人の保育士の配置。発達障害等支援を必要とする場合は一名の加配など国の基準を大きく上回る配置と考えている。

問 地域全体が女性の方々に協力を頂かなければ職種が顕著に人材不足と言える。浜田市が取り組んでいる「ひとり親支援策」は大いに参考になる。地域の力・町の力を上げていく努力が必要だ。

町長 ひとり親の看護資格者でここで就職したい方がおればいくらでも受け入れたい。

核兵器禁止条約の交渉開始に踏み切るべきだ

町長 核兵器の廃絶・使用禁止は、人類共通課題だ



谷口 功 議員



問 オバマ大統領が5月27日に現職のアメリカ大統領として初めて、被爆地広島市を訪れ、歴史的な第一歩が踏み出されたが、核兵器禁止条約の一步を踏み出すことが今求められている。どのような見解か。

町長 大変大きな意義を持った訪問だ。未来に向けて原水爆の使用禁止、核兵器のない世界を築くことは、人類共通の願いだ。大統領が現時点で踏み込めない限界があること、ある意味理解できる。

問 わが町も参加している平和市長会議の趣

旨を町民に広く知らせ、わが町の被爆者へも町長が訪問すべきではないか。

町長 訪問できたらいいと思う。

要支援1、2のサービスを守れ

問 安保健制と同様に福祉分野もまさしく憲法の解釈改憲と考える改悪が連続的に続けられている。社会保障制度改革推進法が3年前に制定され介護・医療・国保など改悪部分の内容を説明願いたい。

町長 一度ならず二度も三度も変わった。

問 主な内容は、川上の高度医療から川下の家庭介護へ押し流すというもの、その中心は、医療・介護費用を大幅削減するものだ。国民健康保険を都道府県単位化し、医療・介護費用を一元的に削減すると同時に、民間事業者の介護分野での事業化の仕組みをつくらうとしている。国民は、社会保障サービスをお金

で買う異常な事態となる。要支援1、2の人の生活・訪問サービスをシルバー人材センターに委託予定だが、お金をかけずサービス提供体制整備は可能か。

町長 非常な厳しさを感じている。家事援助サービスについて来月、事業者説明会予定だ。

問 介護保険制度から要支援1・2の軽度者が外されても、事業者は



社会保障制度改革推進法が改正され、要支援1、2のサービスが危機的な状態。小規模事業者の経営圧迫も危惧される。

は一定の給付があるが、大幅に減額され経営を圧迫され、特に小規模事業者ほど困難となる仕組みだ。

町長 大変な厳しさだ。介護保険制度を離れて町独自の制度枠をつくることは困難だ。

国保税1万円引き下げよ

問 国保税一人当たり1万円引き下げよ。財源は、平成27・28年度一人当たり5千円ずつ引き下げに使える交付金の手当てされている。

町長 確かにそういう内容の厚労省通知はきている。目に見えるほど交付金は増えていない。引き下げのため、基金繰り入れを昨年と同程度行い、一人当たり5千円、1世帯当たり9千円程度引き下げできると考えている。



宮本 泰男 議員



「ふるさと納税」特産物を返礼品に使い寄付金を増やせ

町長 物販はしない

ふるさと納税制度

問 個人が応援したい自治体に寄付をする。住民税等が軽減される。都市部に偏重する所得税などを地方に移転し税の再配分を図るのを目的とする。本町の昨年度の寄付金の実績は。

町長 平成27年度は266万余円である。

問 本町の返礼品は入浴券のみである。進呈数、使用実績は。

総務課長 進呈数41名、

利用実績16件である。**問** 香美町の実績は6,344件6,721万余円。前年度金額2.5倍と好成績である。本町は金額が減少。香美町との差はますます広がっている。事業推進に目標額の設定、返礼品の品目追加、クレジット決済事務の簡略化等努力したか。

町長 以前と変わっていない。

問 返礼品に特産物を使うことを要望する。ふるさと基金条例には子供の健全育成、教育施設拡充、特産物の産業振興等に寄付金の使い道が規定されている。町全体でふるさと納税事業を推進すべきである。

町長 ふるさと納税をやっていないわけではない。

ない。寄付金は浄財と思う。物販はやらない。

請願書、要望書

問 町民の声は商工会が要望書、有志の会から請願書がだされ議会が採択し、町長に特産物を返礼品に使うことを強く要望されている。議会で可決した請願書は大変重いものである。町長の所感を問う。

町長 軽いものとは思っていない。

問 町財政の厳しい現実からこの制度は自主財源造成の起死回生事業である。この制度は未来永劫にない。ふるさと納税の積極的推進をすべきである。

町内にあるトンネル内の照明を明るくすべき

問 町道浜坂諸寄港線「城山トンネル」内で交通事故が起きた。このトンネルは照明が暗すぎる。見通しも悪い。高齢者、目の不自由な方が増える中、町内のすべてのトンネルを点検整備すべきである。**建設課長** トンネルは国道3か所、県道9か

所、町道2か所ある。事故現場を確認した。このトンネルは平成19年の完成、5年おきに点検する。県も定期点検は実施している。国道も蒲生トンネルが暗い。今年、春来ともLED化に着手すると聞いている。**問** マニュアルどおり十分な点検整備し、安心・安全な明るさを保つべきである。



町道のトンネル照明が暗い状態だ。国のLED化に連動した対策を求めたい。

総務教育常任委員会

平成28年6月13日開会



6月7日に開催された中学校海外研修事業の結団式。今年の参加者14名（夢ヶ丘中学校4名、浜坂中学校10名）。成果に期待したい。

こども教育課

Q こども議会を10月14日開催。効果が全体に広がっているか。
A 広がるよう指導したい。
Q 浜坂認定こども園の整備計画は。
A 平成30年に新築予定。年内に移転候補地を選定し、基本計画を決める予定である。

生涯教育課

Q 先人記念館の招待券の枚数は。
A 展示会が1週間なら50枚、4週間なら200枚と規定している。
Q 中学校海外研修日程で役場8時発、成田空港午後3時半着。どうしてこんな時間のかかる行程にするのか。町の自主性を感じられ

ない。

A 旅行会社と相談したが、この行程しかないとのことだった。

税務課

・ふるさと納税に係る住民税控除額は約172万円である。
 ・国民健康保険条例の改正案について委員会としては了としたが、1名の委員から意見留保の通告があった。

企画課

Q 湯めぐりエクスプレスの鳥取空港経由が廃止されたが今後の対応は。
A 今後とも営業面も含めて協議したい。

・第2次新温泉町総合計画の策定方針について説明を受けた。量が多いこともあり、この案件のみで日程をとり協議することとした。

総務課

・熊本地震にかかる支援の状況及び今後の予定について。
 関西広域連合並びに兵庫県の要請に基づき、熊本県益城町を中心に人的支援を行う。7月6日から7月13日まで、2名を派遣する。

・大庭財産区補助委員の選任、人権擁護委員の推薦については了とした。

協議事項

一般会計補正予算は委員会として了承した。付託された請願については委員会として採択した。

Q 「常勤の特別職の給料を1か月、10%減給する内容」を3月定例議会で否決した。その後の対応は。
A 私の立場からして最善の策である。



先人記念館「以命亭」の年間入場者は約7,800人。多くのイベント企画を行いながら集客に努めている。

産業建設常任委員会

平成28年6月14日開会

牧場公園課

Q 遊具が設置されイメージが良い。増設予定は。

A 今年度は「ふれあい広場」まで遊歩道を予定している。平成30年に増設したい。

協議事項

1、一般会計補正予算（第1号）

異議なく了承。

農林水産課

Q 有害鳥獣の捕獲が倍増し、焼却処分ができず埋設してほしい。環境省は放置してもいいと見解を出している。埋設に強制力があるのか。

A 移動ができなく、また生態系に影響ない範囲で放置してもいいとしている。

Q 処理場をつくるとか広域で処分するとか一定の方向を出すべきである。

A 当町はクリーンセンターで焼却していた。絶対に埋設という訳ではない。放置してもいいと柔軟な対応ということ判断している。

協議事項

一般会計補正予算（第1号）

異議なく了承。

建設課

Q 残土処分場閉鎖後の利用計画は。

A 下夕山には谷が二つあり、一方は浜坂自治区所有、もう一方は町のもので両方公園化する予定。十字谷残土処分場は防災広場として避難場にする予定である。

協議事項

1、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正。

2、一般会計補正予算（第1号）

3、浜坂地区残土処分場事業特別会計補正予算（第1号）

4、温泉地区残土処分場事業特別会計補正予算（第1号）

4件とも異議なく了承。

商工観光課

Q 空き家バンク制度実施状況。

A 意向確認調査は224件実施、その中で登録可が45件。現在登録完了は4件。

Q 「道の駅」整備事業の進捗状況は。

A 用地支払手続きは6月で全て完了。積算業務も7月中旬に完了

予定。建築工事の契約は9月中旬予定。運営者の決定は9月に公募し、年内に決定する。予定どおり来年9月オープンする。

バイナリー発電

Q 「薬師湯」の電気代年間30万円の削減に

なるが、年間経費はいくらか。

A 委託料の点検料含めて463万4千円かかっている。

協議事項

一般会計補正予算（第1号）

異議なく了承。



故障続きのバイナリー発電機。当初説明には無かった収支の不合理な状態が続いている。

環境福祉常任委員会

平成28年6月15日開会



本年4月から焼却施設が稼働しているクリーンパーク北但。
8月7日には全体竣工式が予定されている。

町民課

ゴミ収集について

Q 団地、自治区、少戸数集落等の未加入家庭の収集状況は。

A 個別収集等により対応している。

害獣処理対策について

Q 大型動物の処理場を町営で行う考えはないか。

A 広域で考えざるをえないが、現在は考えていない。

但馬クリーン作戦について

Q クリーン作戦の中止連絡に、不備があったようだが徹底すべきではないか。

A 今後は徹底した連絡にする。

健康福祉課

低所得者の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金支給状況について

Q 受給資格者に充分連絡をし、資格者全員に受給してもらうように努めるべきだ。

A 広報等で周知をしているが、全員受給には至っていない。全員受給に努める。

上下水道課

異常寒波による、水道管破裂状況について

Q 破損の状況及びその対応は。

A バルブの経年劣化による破損が主な原因と思われる。

公立浜坂病院

新公立病院改革プランについて

Q この改革プランは町民の健康と命を守るプランではなく、国の財政を主とするものであり、浜坂病院は浜坂病院らしいプランを策定すべきだ。

A 国、県の方針は方針であり、浜坂病院は総合診療科等を設け、浜坂病院らしい方向付けで、前向きに町民の健康と医療を守るプランを策定する。

職員案内		
院長 五嶋 良吉	副院長 井上 満夫	事務長 仲村 秀幸
総務部長 松岡 孝	内科部長 太田 雄美	看護部長 尾崎 淳子
医務部長 八幡 晋輔	産科部長 鹿田 均	薬剤部長 岡田 きよみ
総務部長 辻村 英二	内科部長 丹後中央病院医師	看護部長 大下 勝
医務部長 片岡 善夫	産科部長 清 忠蔵	薬剤部長 土江 秀彦
	内科部長 山田 直樹	

浜坂病院の医師職員案内。改革プランの重点は“総合診療科の充実”で町民の健康と医療を守る。

人事同意

●人権擁護委員

中村善明氏（竹田）

を再任同意

任期：総務省の任命

の日から3年間

意見書

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度

2分の1還元に関する

意見書について

（全会一致で可決）

表彰

●兵庫県功労者表彰

（自治功労）

中井 勝議員

可決された意見書

は、国会及び政府関係

機関へ提出した。

一般質問の動画

QRコード掲載を開始

新温泉町のホームページ

では、議会一般

質問の動画を配

信しています。

スマートフォン

をお使いの方は、QRコード

読み取りアプリを使用して

簡単に動画を見ることができ



第78回定例会 議案採決一覧表（H 28.6）

議 案 名	議 員 名																賛 成	反 対	採 決
	1 中井 勝	2 谷口 功	3 宮脇 諭	5 植田 光隆	6 岡坂 峰雄	7 谷田一 富	8 中村 茂	9 西村 敏弘	10 西村銀 三	11 中井次 郎	12 池田宜 広	13 宮本泰 男	14 岩本修 作	15 高橋邦 夫	16 小林俊 之				
新温泉町税条例等の一部改正について	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	—	9	5	可決	
新温泉町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	13	1	可決	
平成28年度新温泉町一般会計補正予算（第1号）について	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	—	9	5	可決	
平成28年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	—	12	2	可決	

○は賛成、×は反対、—は議長職のため採決に加わらない。（全員賛成議案は省略）

議会日誌

（3月）

29日 美方郡広域事務組合議会臨時会

31日 兵庫県議会議員会意見交換会《神戸市》

（4月）

6日 議会広報調査特別委員会

14日 議会広報調査特別委員会

19日 兵庫県議会議員会

（5月）

28日 美方郡町議会連絡協議会総会

10日 北但行政事務組合議会運営委員会《豊岡市》

13日 地方行政課題研究会《神戸市》

17日 兵庫県議会議員公務災害補償組合議会定例会・兵庫

県町議会議員会臨時総会及び評議員会議《神戸市》

19～20日 環境福祉常任委員会視察研修《香川県綾川町》

23日 兵庫県議会議員会第67回定期総会《神戸市》

（6月）

1日 美方郡広域事務組合議会臨時会

2日 議会運営委員会

7日～21日 第78回議会定例会

8日 全員協議会

8日 議会広報調査特別委員会

13日 総務教育常任委員会

14日 産業建設常任委員会

15日 環境福祉常任委員会



挿し絵 木本博明氏

人との出会いは素敵なこと

にほんご広場「ハピタン」(新温泉町浜坂)

代表 西村 美幸

活動内容は…新温泉町に住む外国の方に向けて日本語教室を開いています。日本語を学習することでこの町での生活がしやすくなり楽しくなることを目指しています。言葉だけでなく文化、習慣も伝えられるように花見、茶道などのイベントも開催しています。

実践体験もします。メンバーも外国の方から出身国について教えてもらい、双方学びあえる場となっています。

今後の抱負は…縁あってこの町に住んでいる外国の方が、ここに来てよかった、ここに住んで幸せだと思ってもらえるように手伝うことができた

と考えています。

皆さんにお願いしたいこと…

外国の方にとってここは異国です。不安なこともたくさんあるので、町で出会ったら笑顔で気軽に声をかけてください。



その他何でも…名前に広場という言葉を使っているのは誰でも歓迎という思いが込められています。人との出会いは素敵なこと。人に何かを伝えることで自分にとっても

新発見!再発見!ということがあります。身近に外国の方がおられましたら、ぜひこの会のことを紹介してほしいです。『楽しく継続』をモットーに、広場に人があふれることを期待しています。

メンバーは…この町が好きでちよつとおせっかいな20代〜60代の約10名で活動中です。興味のある方は見学に来てみてください。随時メンバー募集中です。

会のセールスポイントは…様々な目的、ニーズを持つ参加者それぞれに合わせた学習ができるように工夫しています。時には、町に出て

編集後記

日本列島の端々は豪雨地震等で、地滑りにより家屋の倒壊被害が甚大であり大変のようだ。

わが町は真夏日の連日であるが、海開きも終り海水浴も今々だ。

役員方の御努力により、近年一躍有名になった花火大会も、盛大に行われ、海辺の涼しさの中で熱く光り輝く夜空を楽しんでいた。

議会だよりも町民が期待して読んでいただける内容の編集に努力します。

(M・O)

次回定例会は

9月です。
傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会

委員長	中村 茂
副委員長	池田宜広
委員	岡坂峰雄
	西村敏弘
	宮本泰男
	岩本修作

発行者 議長 小林俊之